

## SWITCH 3

## UNIT 1

## インドにおけるカフェと紅茶店の普及

**背景知識**

インドは紅茶の生産量で世界第1位を誇り、国民は150年以上もの間、紅茶を飲む生活をしてきた。そこに今、コーヒー文化が急速に普及している。これまでもコーヒーが栽培される南部では愛飲されてきたのだが、近年、海外のコーヒーチェーンの進出が目覚ましく、コーヒーを飲む文化はインド全土に広まった。

世界第2位の人口を抱えるインドは市場規模も大きく、特に若い中産階級層の増加によって、今後もカフェや紅茶店業界は成長することが見込まれている。

**用語**

## ◆Starbucks / Lavazza / Costa Coffee

スターバックス／ラバツァ／コスタコーヒー。前から順に、アメリカ、イタリア、イギリスのコーヒーチェーン。

## ◆India Coffee Trust

インド・コーヒー・トラスト。インドにおけるコーヒーの消費の促進と、コーヒー産業の活性化を目的として、2011年に設立された団体。

## ◆chai

チャイ。インド式に甘く煮出したスパイス入りミルクティー。

## ◆Chai Point

チャイポイント。2010年にインド・バンガロールにオープンした、チャイ（紅茶）が飲める店。国内でチェーン展開している。

## ◆Bangalore

バンガロール。「インドのシリコンバレー」と呼ばれ、最先端のIT企業が集まる街。

**参考 URL**

○コーヒー消費から見る、インド人のライフスタイル | 社団法人 全日本コーヒー協会  
(<http://coffee.ajca.or.jp/webmagazine/abroad/74india2>)

○インドでコーヒーがブーム | The Wall Street Journal  
(<http://jp.wsj.com/articles/SB10001424127887324823704578367441368026994>)

## SWITCH 3

## UNIT 2

## 水資源の危機

## 背景知識

「水を大切に」というのは、私たちが子供の頃からずっと言われていることだ。しかし、水は有限だという感覚を実感として持っている日本人はどれだけいるだろうか。

今、世界の**水資源**は危機的な状況にある。すでに目の前に水がない、あるいはひどく汚染された水しか手に入らないという人々も大勢いる。途上国、先進国、抱える問題はそれぞれだが、資源としての水は、私たちが自覚していなくても確実に枯渇へと向かっている。

## 用語

## ◆fresh water

淡水，真水。塩分をほとんど含まない水。

## ◆the Ganges

ガンジス川。インド北部を東西に流れる大河。生活排水や産業排水が未処理のまま垂れ流しにされており，水質の汚染が深刻な状態にある。

## ◆water level

(地下)水位。飲料用や農業用に人間が地下からくみ上げている水の量は、降雨などによって補給される量をはるかに上回り，地下水の水位は世界レベルで低下し，枯渇しつつある。

## 参考 URL

- 5分でわかる水資源の危機 | NPO 法人 ネットワーク『地球村』  
([http://www.chikyumura.org/environmental/earth\\_problem/water\\_resource.html](http://www.chikyumura.org/environmental/earth_problem/water_resource.html))
- 水の学習室 | JWG ジャパン・ウォーター・ガード  
(<http://npj-jwg.com/studywo.html>)
- 世界最悪の汚染度，インドの水道事情 | 全世界水道なう  
(<http://www.tucsonpimawaterstudy.com/indias-water-situation.html>)

## SWITCH 3

## UNIT 3

## レアアース金属とは何か

## 背景知識

レアアース金属は、その名前からもわかるように、「レアな(rare)」, つまり大量には見つからない金属である。自動車や家電製品など、私たちの身の回りの先端機器を作るのに欠かせない材料であるため、多くの国がその入手にしのぎを削っている。

採掘と分離に手間がかかり、高価であることから、使い古された電子製品からレアアース金属を回収・リサイクルする技術の確立にも力が入れている。

## 用語

## ◆rare earth metal

レアアース [希土類] 金属。レアメタル [希少金属] のうち、スカンジウム、イットリウム、ランタンからルテチウムまでの 17 種類の金属元素のグループ。

## ◆the periodic table

元素周期表。物質を構成する基本単位の元素を、それぞれが持つ物理的または化学的性質が似たもの同士が並ぶように決められた規則 (周期律) に従って配列した表。

## ◆green technology

グリーン [環境保全] テクノロジー。エネルギーと資源を効率的に利用することにより、温室効果ガスおよび汚染物質の排出を最小化する、環境に配慮した技術。

## ◆hybrid and electric cars

ハイブリッド車と電気自動車。前者はガソリンで動くエンジンと電気で動くモーターの 2 つの動力源を持つ自動車、後者は電気でモーターを動かして走る自動車。

## ◆MRI machine

MRI [磁気共鳴画像] 装置。強い磁石と電磁波を利用して、身体の内부를画像化する医療用装置。

## 参考 URL

○レアアース希土類 | 経済産業省

([http://www.meti.go.jp/policy/nonferrous\\_metal/rareearth/rareearth.html](http://www.meti.go.jp/policy/nonferrous_metal/rareearth/rareearth.html))

○期待が膨らむ日本近海の海底資源 | High School Times

(<http://www.highschooltimes.jp/news/cat24/000190.html>)

## SWITCH 3

## UNIT 4

## 高齢者の山歩きブームと問題点

## 背景知識

登山は自然を楽しみながら体も鍛えられることから人気が高いが、近年、我が国では特に高齢者の登山が増加している。しかし残念なことに、それに伴って登山中の高齢者の事故も急増している。

原因としては、体力不足のほかに、経験の浅さからくる見通しの甘さがある。登山が簡単なものではないと同様に、救助も簡単なものではない。山に登るすべての人が、山の安全に関わる個々人の責任を認識するべきである。

## 用語

## ◆Japan's "100 Famous Mountains"

『日本百名山』。文筆家であり登山家でもあった深田久弥による山岳随筆。品格、歴史、個性の面で最も優れた国内の100の山を選んだもの。

## ◆mountain guide

山岳ガイド。登山客を案内し、安全に山を楽しむために必要な技術を教えながら、目的地まで案内する職業、またはそれを行う人。

## ◆mountain rescue

山岳救助。登山中に山岳部で遭難した者を捜索・救助する活動。日本では警察や消防、自衛隊、消防団、その他の民間の団体が救助活動を行っており、公的機関による捜索・救助活動は原則として無料である。

## ◆the European Alps

アルプス山脈。ヨーロッパ中央部を東西に横切るヨーロッパ最大の山脈。

## 参考文献・URL

○深田久弥(著)『日本百名山』(新潮社)

○日本百名山(山情報)|ヤマレコ

(<http://www.yamareco.com/modules/yamainfo/ptlist.php?groupid=1>)

○ヘリコプターレスキュー | jRO 日本山岳救助機構合同会社

(<http://www.sangakujiro.com/%E3%83%98%E3%83%AA%E3%82%B3%E3%83%97%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%BC/>)

## SWITCH 3

## UNIT 5

## 植民地としてのオーストラリアの歴史

## 背景知識

オーストラリアの建国記念日は 1788 年 1 月 26 日だが、それは**植民地**としてのオーストラリアの歴史が始まった日である。

オーストラリア大陸には、4～7 万年前から原住民が暮らしていた。アボリジニと呼ばれる彼らの生活にヨーロッパ人が入り込んできたのは、1600 年代前半のことである。大航海時代に、何人もの探検家がこの大陸を訪れたが、1788 年、クック船長の報告に基づいてイギリスが領有権を主張したことで、イギリスの植民地となったのである。

オーストラリアの成り立ちは、ヨーロッパ人の視点からのみ語られるべきではない。

## 用語

◆the *Duyfken*

ダイフケン号。オランダの帆船。1606 年にオーストラリア大陸を初めて発見したヨーロッパ人が乗っていた船。

## ◆the Aborigines

アボリジニ。オーストラリア先住民。オーストラリア大陸に 4 万年以上前から住み、狩猟採集生活を送っていたが、ヨーロッパ人の迫害を受け、その人口は激減した。

## ◆Tasmania

タスマニア。オーストラリア本土の南東に位置する、自然の美しい島。

## ◆Captain James Cook

ジェームズ・クック[1728-1779]。通称キャプテン・クック。イギリスの探検航海者で、オーストラリア以外にも、ハワイ島の発見および探検で知られる。

## ◆Captain Arthur Phillip

アーサー・フィリップ[1738-1814]。イギリス海軍の軍人および植民地の行政官。オーストラリアにおけるヨーロッパの植民地初の提督。

## 参考 URL

○オーストラリアの歴史 | オーストラリア教育旅行ガイド

(<http://www.travelvision.co.jp/schoolaustralia/learn/history-culture/history/australia.php>)

○オーストラリア発見 | 豪日交流基金

(<http://australia.or.jp/old/discover/index.html>)

## SWITCH 3

## UNIT 6

## 貧困と支援

## 背景知識

貧困は世界の問題だが、国や個人によってその認識には差がある。本文では特に途上国における貧困、つまり食べ物や医療も満足に手に入らず、生命の危機に瀕している人々にスポットを当てている。

このような人々に対し、支援の手を差し伸べる人々もまた多くいる。しかし、資金援助や物的援助が必ずしも状況を改善するわけではないのが、支援の難しさである。望ましい支援とはどんなものなのか。「持続可能な開発」につながる支援の仕方を考える。

## 用語

## ◆poverty

貧困。ここでは経済的な理由によって生活が苦しく、食料、飲料水、医療、教育などの基本的なものやサービスを手に入れられない状態を指す。

## ◆malnutrition

栄養失調 [不良]。食物の摂取量や栄養素の不足によって健康が害された状態。発育不良や疲労、貧血、下痢などを伴う。※mal-は「悪い、不良」などを意味する接頭辞で、nutrition は「栄養（状態）」の意。

## ◆starvation

飢餓。食糧不足によって長期間にわたって栄養が不足する状態が続く、体調の維持が困難になっている状態。

## ◆sustainable development

持続可能な開発 [発展]。将来の世代の発展の基盤を損なわない範囲内で、現代の世代の社会発展を進めようとする理念。特にここでは、発展途上国が自らの力で持続的に発展していけるようにするという考え方。

## 参考 URL

○世界の貧困に関するデータ | The World Bank

(<http://www.worldbank.org/ja/news/feature/2014/01/08/open-data-poverty>)

○5歳未満の子どもの死亡数、年間 660 万人に | 日本ユニセフ協会

([https://www.unicef.or.jp/osirase/back2013/1309\\_02.html](https://www.unicef.or.jp/osirase/back2013/1309_02.html))

## SWITCH 3

## UNIT 7

## 体内時計と睡眠時間

## 背景知識

睡眠は私たちの生活の基本である。多くの人は無意識に自分たちの**体内時計**にしたがって睡眠活動を行っている。毎日の睡眠時間がおおよそ決まっていたり、極端な睡眠不足の後には眠気に襲われたりするなどのことは、誰にでも経験があるだろう。

本文では、睡眠時間と体内時計との関係を科学的に検証し、子供と大人の睡眠量の違いにも触れる。まだ未解明なことの多い分野だが、自分の生活が大きく左右されていることを考えると、そのメカニズムを知ることは興味深い。

## 用語

## ◆biological clock

体内時計。生物時計ともいう。生物の体内に本来備わっている、時間を測定する機構。24 時間周期で繰り返される生理現象（朝がくると目覚め、夜になると眠る、など）のリズムを調整する役割を担う。

## ◆basal sleep need

基本必要睡眠量。基本的な生命活動を健康に営むために必要な睡眠の量。

## ◆sleep debt

睡眠負債。睡眠不足が続き、不足分（＝負債）が蓄積している状態。

## 参考 URL

○不眠と体内時計について考える 体内時計.jp | 武田薬品工業株式会社

(<http://www.tainaidokei.jp/>)

○やってみよう！快眠 TIPS | 世界睡眠会議

(<http://suiminkaigi.jp/tips/tips-suiminfusai>)

## SWITCH 3

## UNIT 8

## 日本人の海外旅行の動向

**背景知識**

海外旅行には、その時々流行がある。日本人にとって、海外旅行が身近になってきたのはここ数十年のことであるが、その傾向はどのように変化してきたのだろうか。

かつてはショッピングを目的とした海外旅行が流行しており、北アメリカ、西ヨーロッパ、韓国や香港などに行く多くの団体ツアーが組まれていた。その後、個人ツアーが増え、渡航目的も多岐にわたるようになった。

海外旅行をする多くの日本人にとって、言語の壁も存在するが、自国ではできない体験ができるのが、海外旅行の魅力になっている。

**用語**

## ◆white-water rafting

ホワイトウォーターラフティング [急流いかだ下り]。ゴムボートなどに乗り、川の急流を下るレジャースポーツ。

## ◆bungee jumping

バンジージャンプ。ゴム製の命綱を足に固定して、高い所から飛び降りるスリルを楽しむレジャー。南太平洋のバヌアツなどで行われていた成人の儀式がルーツと言われている。

## ◆group travel

団体旅行。1人でなく団体でする旅行。特に旅行会社の手配による大人数の旅行。

**参考 URL**

○旅行データバンク | JATA (一般社団法人 日本旅行業協会)

(<http://www.jata-net.or.jp/data/>)

○変わる海外旅行へのモチベーション | 伊藤忠ファッションシステム株式会社

(<https://www.ifs.co.jp/knowledge/変わる海外旅行へのモチベーション/>)



## SWITCH 3

## UNIT 9

## 写真家セイドウ・ケイタ

## 背景知識

アフリカ出身の**写真家**で世界的に有名な人はそれほど多くない。その代表格が西アフリカ・マリ出身の**セイドウ・ケイタ氏**である。

彼は、自国ではまだカメラの珍しかった時代に、たまたま手に入ったカメラを独学で学び、一般の人々を撮りながら技術を磨いた。時代を先取りし、苦労を重ねながらアフリカで写真文化を開拓したセイドウ・ケイタ氏の軌跡を紹介する。

## 用語

## ◆Bamako

バマコ。西アフリカの国、マリ共和国の首都で、西アフリカの交通の要地。1923年にセネガルのダカールとの間に鉄道が開通し、発展した。

## ◆Mali

マリ共和国。西アフリカの共和制国家。植民地時代には「フランス領スーダン」と呼ばれていた。1960年にフランスから独立し、現在の国になった。

## ◆Senegal

セネガル共和国。西アフリカの共和制国家。長くフランスの植民地であったが、1960年にマリと共にフランスから独立。首都はダカール。

## ◆Bamako's market

バマコの市場。生活必需品が売られる屋台が建ち並ぶ市場。アフリカでは現在も主要な販売形態で、特に交通の要所であるバマコには規模の大きいものがある。

## 参考 URL

○Seydou Keïta Photographer

(<http://www.seydoukeitaphotographer.com/>)

○マリの首都バマコ (Africa) | Lomography

(<http://www.lomography.de/magazine/29423-bamako-capital-of-mali-africa>)

## SWITCH 3

## UNIT 10

## カフェインの効能と危険性

**背景知識**

カフェインは私たちが日常的に口にするものに含まれている成分である。「コーヒーを飲めば目が覚める」などの効能はよく知られているが、カフェインを抜いたことをうたい文句にした食品もあり、消費者としては善悪の判断が難しい。

これまでの症例などから、一定量以上のカフェインを摂取することで、身体に不調をきたす恐れのあることがわかってきた。大量摂取が体に引き起こしうる変調についての知識を持ち、必要に応じてその効能をうまく利用できるとよいだろう。

**用語**

## ◆caffeine

カフェイン。コーヒーやお茶、コーラなどの炭酸飲料に含まれる成分で、神経興奮作用や利尿作用がある。

## ◆instant coffee

インスタントコーヒー。コーヒーから抽出した液を乾燥させて粉末にし、お湯に溶かすだけで飲めるようにしたもの。

## ◆sleeplessness

不眠。寝ようという意志に反して眠れないこと。

## ◆hallucination

幻覚。医学用語の1つで、実際にはそこには何もないのに、感覚を体験してしまう症状。

## ◆dizziness

めまい。目が回るようなくらくらとした感覚。

**参考 URL**

○カフェイン | 社団法人 全日本コーヒー協会

(<http://coffee.ajca.or.jp/webmagazine/library/caffeine>)

○コーヒーの飲みすぎは危険？カフェイン依存症 | eo 健康

(<http://eonet.jp/health/healthcare/health59.html>)

## SWITCH 3

## UNIT 11

## 文化圏によるジェスチャーの意味の違い

## 背景知識

ジェスチャーの持つ意味が文化圏によって異なることは知られており、例えば海外旅行に行く際などに「相手国でこのようなジェスチャーをすると失礼にあたる」というように注意を喚起されることがある。

本文では3つのジェスチャーを取り上げ、ある特定の地域でそれを行うことで何が起こりうるかの具体的な例を示している。

## 用語

## ◆peace sign

ピースサイン。人差し指と中指を離して立て、他の指は折った状態にするジェスチャー。元々は平和や勝利を意味するサインだが、現在では写真撮影時のポーズとしても定着している。

## ◆Winston Churchill

ウィンストン・チャーチル[1874-1965]。イギリスの政治家。第二次世界大戦時にイギリスの首相を務め、連合国軍の勝利に貢献した。

## ◆the Vietnam War

ベトナム戦争。1960年頃、南北に分裂したベトナムで発生。北を旧ソ連、南をアメリカ合衆国が支援したことで大規模化。1975年、北ベトナム側の勝利で終結。

## ◆President Nixon

アメリカ合衆国の第37代大統領、リチャード・ニクソン[1913-1994]。大統領就任後、ベトナム戦争からアメリカ軍を完全撤退させた。

## ◆the first President Bush

アメリカ合衆国の第41代大統領、ジョージ・H・W・ブッシュ[1924- ]。長男であり、第43代大統領のジョージ・W・ブッシュと区別するために、「初代ブッシュ大統領」と呼ばれることもある。

## ◆‘thumbs-up’ sign

こぶしを握った状態で親指を立てるサイン。

## 参考 URL

○海外でそのジェスチャーは危険かも！覚えておきたいNGハンドサイン12個 | COROBUZZ  
(<http://corobuzz.com/archives/5329>)

## SWITCH 3

## UNIT 12

## 幸福の要因

## 背景知識

多くの人が幸福に生きたいと願っている。そして、研究者たちはどうすれば幸福になれるかということを考えてきた。

「お金」「学歴」「外見の良さ」などの要素は、望む人が多く、幸福に結びついていると思われるが、実際はどのようなのだろうか。「仕事のやりがい」や「友達や家族とのきずな」のような内面的な要素は、幸福度に貢献するのだろうか。本文ではいくつかの研究結果を示し、人は何によって幸福を感じるのかを考察している。

## 用語

## ◆depression

うつ病。気分障害の1つ。心のエネルギーが低下し、日々の生活に支障をきたすほど落ち込んだ状態が続く病気。

## ◆IQ

知能指数。Intelligence Quotient の略。知能の発達の程度を示す尺度。

## ◆decision-making power

意思決定権。職場などで状況判断し物事を決める権限。仕事の満足度につながる要素の1つ。

## ◆peer recognition

同僚〔仲間〕から認められること。仕事の満足度につながる要素の1つ。

## 参考 URL

○ダン・ギルバート「私たちが幸せを感じる理由」 | TED

([http://www.ted.com/talks/dan\\_gilbert\\_asks\\_why\\_are\\_we\\_happy?language=ja](http://www.ted.com/talks/dan_gilbert_asks_why_are_we_happy?language=ja))

○名言、故事成語に学ぶ人材マネジメントの本質 第2回「人はパンのみに生きるにあらず」 | jin-jour (ジンジュール)

([https://www.rosei.jp/jinjour/article.php?entry\\_no=57742](https://www.rosei.jp/jinjour/article.php?entry_no=57742))

## SWITCH 3

## UNIT 13

## 質問するアメリカ人と困惑する日本人

**背景知識**

「日本人は質問をしない」とよく言われる。特に外国人と比べたときにそれが顕著に表れるため、例えば国際会議や留学先の授業などの場面でそのように指摘されることが多い。

これは単純に日本人の語学力だけの問題ではない。日本には、沈黙を美德とする文化があり、特に目上の人を質問攻めにするのは失礼とすらとられることがあるのである。

質問するアメリカ人とそれに困惑する日本人は、それぞれ胸の内で何を思っているのだろうか。文化の違いの背景を探る。

**用語**

## ◆American-style question

アメリカ式の質問。ここでは相手への関心を示すための話しかけであり、必ずしも正確な解答を求めるものではない。

## ◆culturally conditioned habit

文化的に慣らされた習慣。自分の暮らす文化の中で身についた習慣のこと。

## ◆intercultural communication

(異)文化間のコミュニケーション。文化的背景の異なる者同士のコミュニケーションのこと。国際結婚のカップル間のコミュニケーションは、多くの場合これに該当する。

**参考 URL**

○日本人が教室で質問しない訳 | MBA 流 大人の学ぶ力

(<http://flowone-lab.com/blog-entry-154.html>)

○エンジニアのための英語術 発言しない日本人, 自己主張が強い米国人 | マイナビニュース

(<http://news.mynavi.jp/column/en/034/>)

## SWITCH 3

## UNIT 14

## 視覚障がい者が映画を楽しむ工夫

## 背景知識

映画というと、私たちはつい「見る」ものだと考えてしまいがちだが、ストーリーや会話、音響効果など、視覚を使わなくても楽しめる要素も含まれている。

視覚に障がいのある人々にも映画を楽しんでもらいたい、と活動する人々がいる。視覚に頼らなくとも楽しめる映画の情報をウェブサイトに掲載している盲目の映画評論家や、目の不自由な人にヘッドホンを配り、映画の間に音声解説を流す映画館などだ。

障がいのあるなしにかかわらず映画を楽しめるようになれば、エンターテインメントの1つとしての映画の意義もさらに高まるだろう。

## 用語

## ◆sound effects

音響効果、効果音。映画などで、演出効果の一環として付け加えられる音 [擬音]。

## ◆visually impaired

視覚障がいのある。blind「盲目の、目の不自由な」という語を差別的であるとして避けたい場合、この表現に言いかえられることがある。impaired は「障がいのある」という意味なので、必ずしも「盲目」と同義ではない。

## ◆narration

ナレーション、解説。映画の筋や場面、登場人物の心理などを説明する語り。

◆*The Sixth Sense*

『シックス・センス』。1999 年公開のアメリカのホラー映画のタイトル。人間の五感を超える靈感（＝第六感）のような能力を持つ少年が登場する。

## 参考 URL

- だれでも楽しめる映画にするために | 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会  
([http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/daw/wz\\_barrierfree.html](http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/daw/wz_barrierfree.html))
- バリアフリー映画鑑賞推進団体 シティ・ライツ  
(<http://www.citylights01.org/index.html>)
- Blindside Reviews | Jay Forry | The nation's premier blind movie critic  
(<http://blindsidereviews.com/>)

## SWITCH 3

## UNIT 15

## 電線の地中化の利点と課題

## 背景知識

電気を使う暮らしには送電網が欠かせない。これまで電線は、一般的に地上の高い所に電柱などを使って架設されてきたが、最近では電線を地中に敷設するケースも増えている。

なぜ電線の地中化が増加しているのか。また、そこにはどのような課題があるのか。課題を改善するためのアイデアもあわせて検討し、導入の是非を考える必要がある。

## 用語

## ◆power line

電線，送電線。発電所と変電所，あるいは変電所同士を結ぶ，電気を送るための金属線。多くは電柱に架線されている。

## ◆power outage

停電。電力供給が停止すること。地震や落雷，送電線の切断や大量の電力消費などが原因になる。

## ◆Washington, D.C.

ワシントン D.C.。アメリカ合衆国の首都。

## 参考 URL

○無電柱化の推進 | 国土交通省

(<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/chicyuka/>)

○「電線地中化は 10 倍のコスト」「景観向上や災害対策に」無電柱化の利点と課題 | THE PAGE (ザ・ページ)

(<http://thepage.jp/detail/20141030-00000007-wordleaf>)